

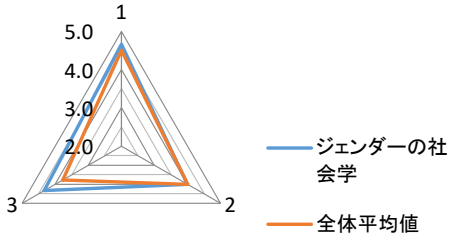
平成30年度第4学年前期「ジェンダーの社会学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
3	3	100%

実施日(平成30年5月22日)

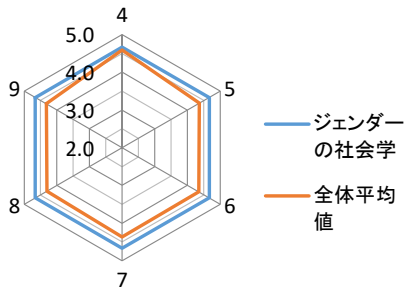
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	ジェンダーの社会学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	4.3	3.8	2.9	4.9

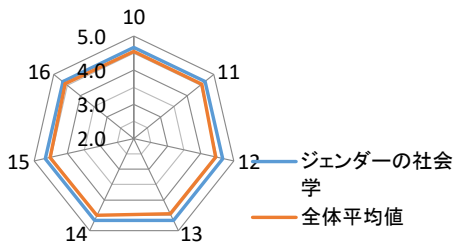
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	ジェンダーの社会学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.7	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	ジェンダーの社会学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.6	4.3	5.0

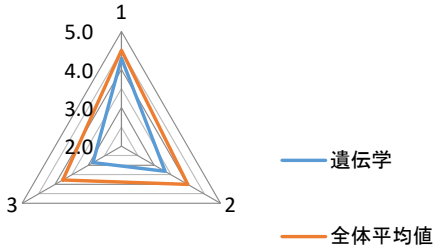
平成30年度第4学年前期「遺伝学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	77	88%

実施日(平成30年5月7日)

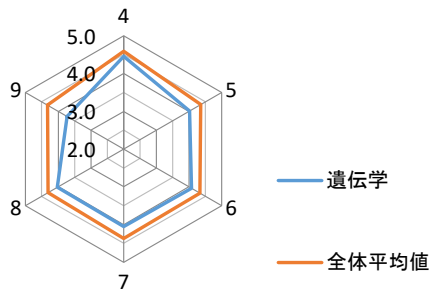
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	遺伝学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.3	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	3.3	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	2.9	3.8	2.9	4.9

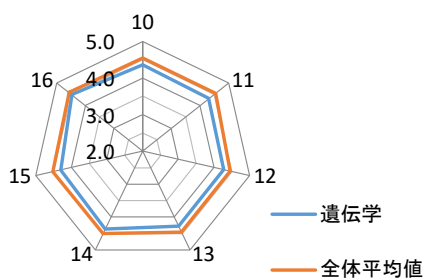
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	遺伝学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味を持てた。	4.1	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	3.7	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	遺伝学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.3	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.6	4.3	5.0

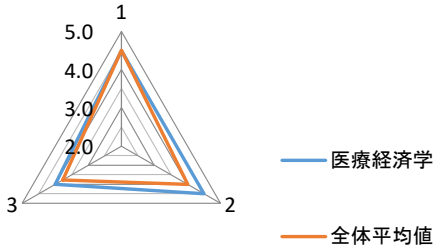
平成30年度第4学年前期「医療経済学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
4	4	100%

実施日(平成30年4月27日)

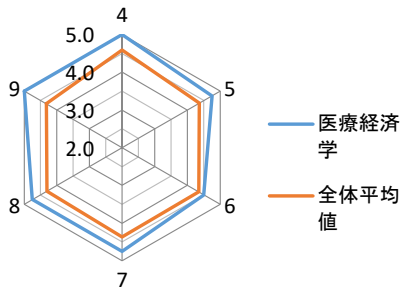
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	医療経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	4.0	3.8	2.9	4.9

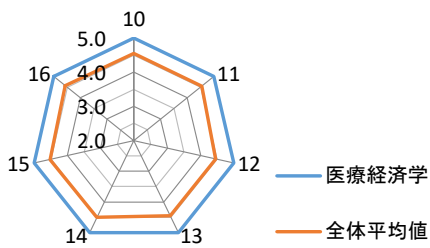
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	医療経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	5.0	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	医療経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	5.0	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	5.0	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	5.0	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	5.0	4.6	4.3	5.0

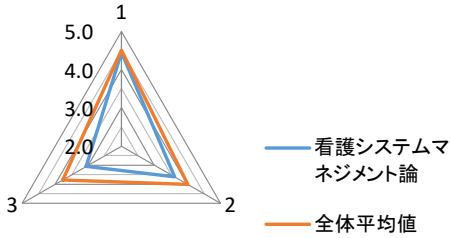
平成30年度第4学年前期「看護システムマネジメント論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
91	62	68%

実施日(平成30年5月22日)

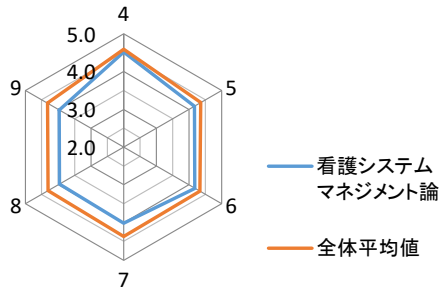
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	3.6	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	3.1	3.8	2.9	4.9

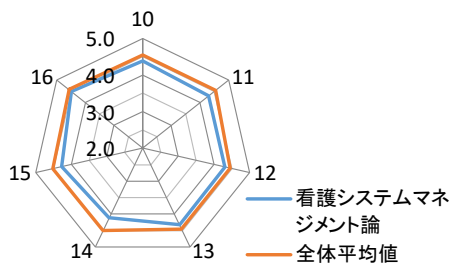
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味が持てた。	4.0	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.0	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.3	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.1	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.6	4.3	5.0

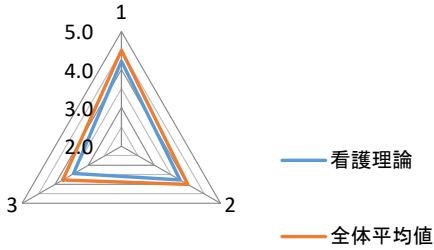
平成30年度第4学年前期「看護理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	81	94%

実施日(平成30年5月24日)

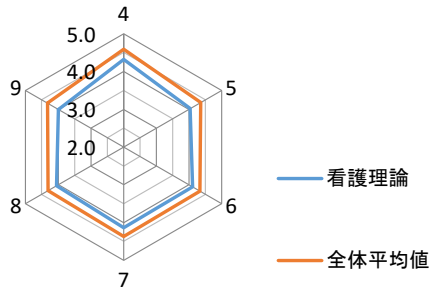
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.2	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	3.8	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	3.4	3.8	2.9	4.9

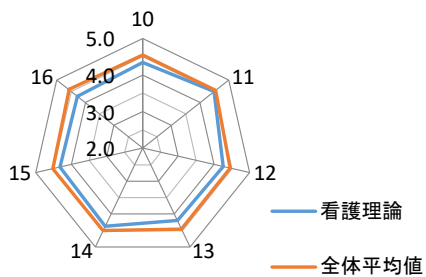
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.3	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味を持てた。	4.1	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.0	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.3	4.6	4.3	5.0

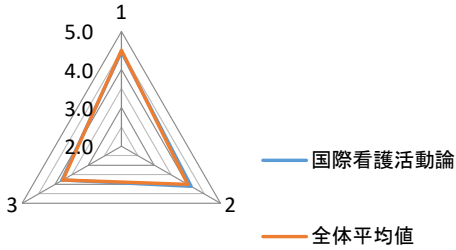
平成30年度第4学年前期「国際看護活動論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
91	72	79%

実施日(平成30年5月25日)

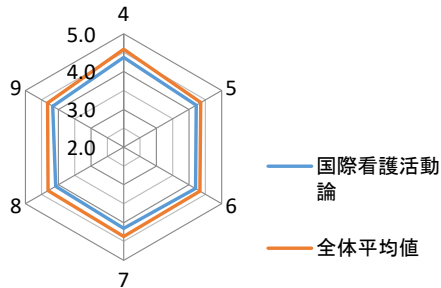
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護活動論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	3.8	3.8	2.9	4.9

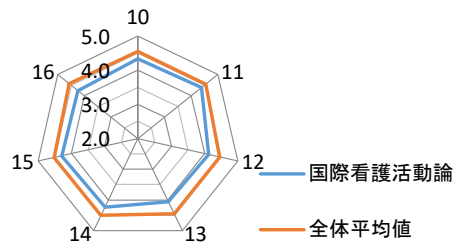
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	国際看護活動論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.1	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.2	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	国際看護活動論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.2	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.3	4.6	4.3	5.0

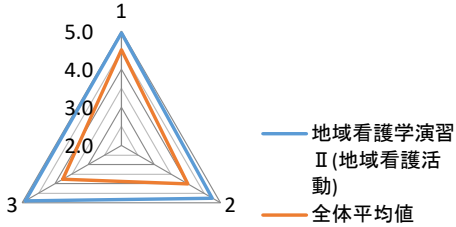
平成30年度第4学年前期「地域看護学演習Ⅱ(地域看護活動)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
21	16	76%

実施日(平成30年5月23日)

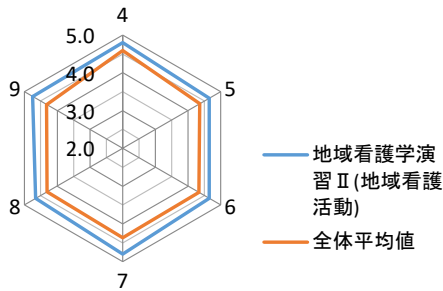
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学演習Ⅱ(地域看護活動)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	5.0	4.5	4.2	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.0	3.3	4.8
3 教員に授業内容について質問した	4.9	3.8	2.9	4.9

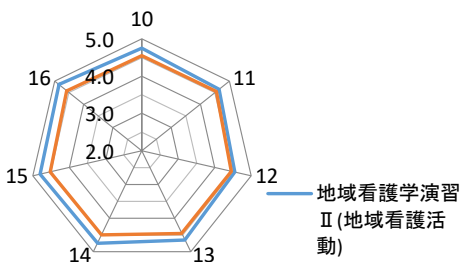
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域看護学演習Ⅱ(地域看護活動)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	4.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.3	4.1	4.7
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.4	4.0	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	4.0	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.8	4.3	3.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学演習Ⅱ(地域看護活動)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.5	4.3	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	4.3	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	4.1	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	4.1	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.8	4.5	4.1	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.8	4.5	4.3	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.9	4.6	4.3	5.0

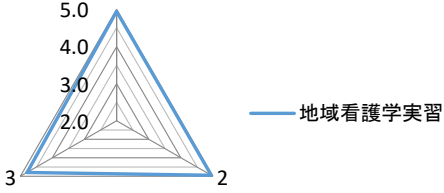
平成30年度第4学年前期「地域看護学実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
21	19	90%

実施日(平成30年7月27日)

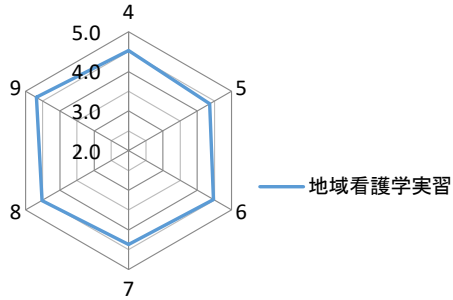
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学実習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ	4.9	—	—	—
2 予習と復習を積極的に行った。	4.9	—	—	—
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8	—	—	—

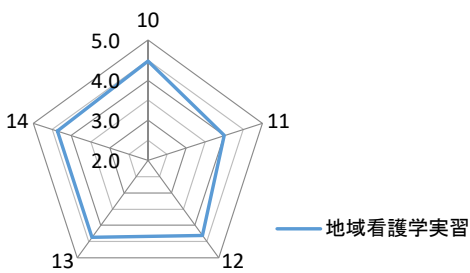
問2. 授業内容について



問2. 実習内容について

	地域看護学実習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学修体験が得られた。	4.5	—	—	—
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.4	—	—	—
6 実習記録は学修を深める上で効果的であった。	4.5	—	—	—
7 課せられた実習記録や課題の量は適切であった。	4.4	—	—	—
8 看護への興味や関心が高まった。	4.5	—	—	—
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.7	—	—	—

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学実習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.5	—	—	—
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.0	—	—	—
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.3	—	—	—
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.4	—	—	—
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	4.4	—	—	—

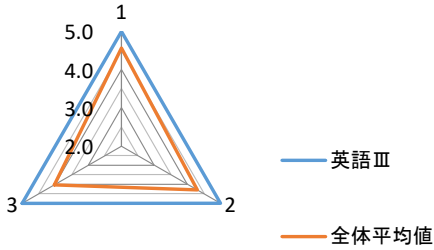
平成30年度第4学年後期「英語Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
2	2	100%

実施日(平成30年11月14日)

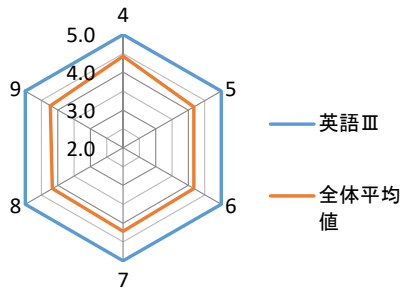
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	5.0	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	5.0	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	5.0	4.0	2.7	5.0

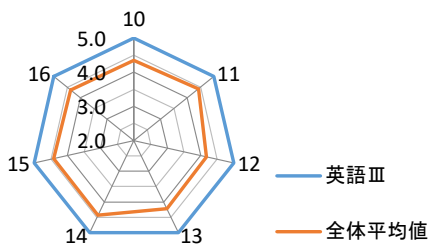
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	5.0	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	英語Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	5.0	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	5.0	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	5.0	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	5.0	4.4	2.8	5.0

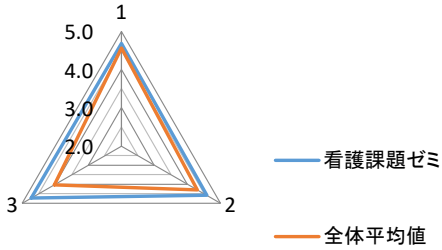
平成30年度第4学年通年「看護課題ゼミ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
91	80	88%

実施日(平成30年12月19日)

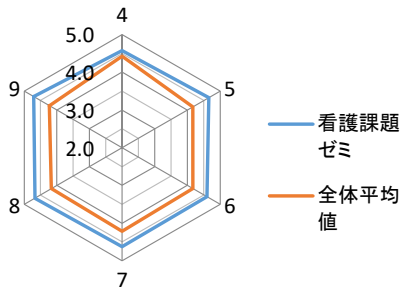
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	4.7	4.0	2.7	5.0

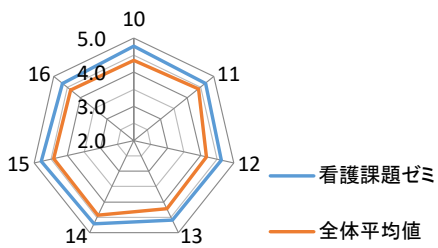
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.7	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.8	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.4	2.8	5.0

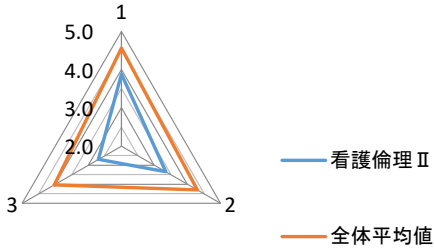
平成30年度第4学年後期「看護倫理Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
28	26	93%

実施日(平成30年12月11日)

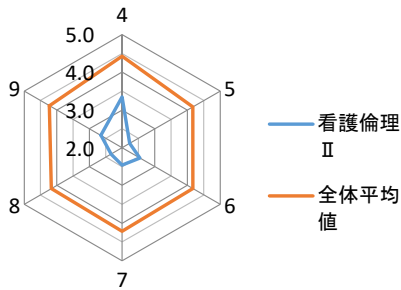
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	3.9	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	3.3	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	2.7	4.0	2.7	5.0

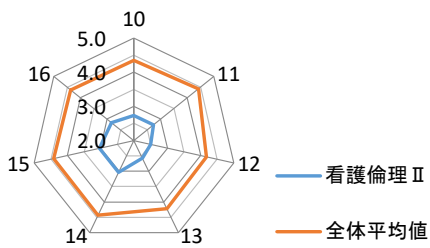
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	3.3	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	2.2	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	2.5	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	2.5	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	2.3	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	2.7	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	2.7	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	2.7	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	2.5	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	2.6	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	3.0	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	3.0	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	2.8	4.4	2.8	5.0

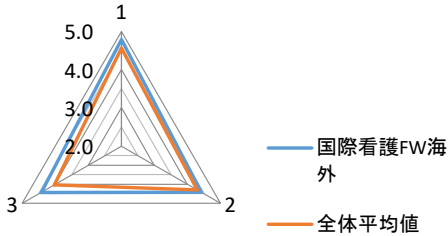
平成30年度第4学年通年「国際看護フィールドワーク(海外)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
19	19	100%

実施日(平成30年9月13日)

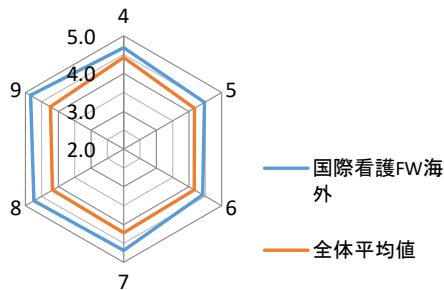
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護FW海外	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.8	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	4.4	4.0	2.7	5.0

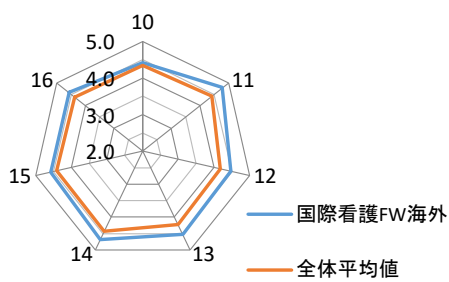
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	国際看護FW海外	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.8	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	国際看護FW海外	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.8	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.4	2.8	5.0

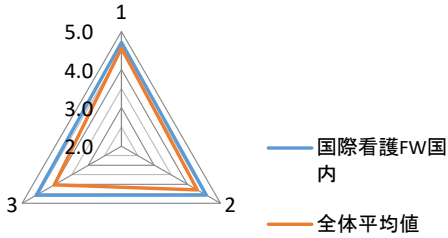
平成30年度第4学年通年「国際看護フィールドワーク(国内)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
7	7	100%

実施日(平成30年10月19日)

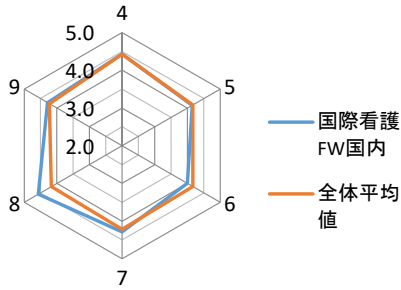
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護FW国内	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	4.6	4.0	2.7	5.0

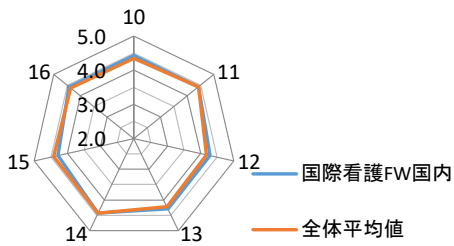
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	国際看護FW国内	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.0	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.3	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	国際看護FW国内	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.4	4.4	2.8	5.0

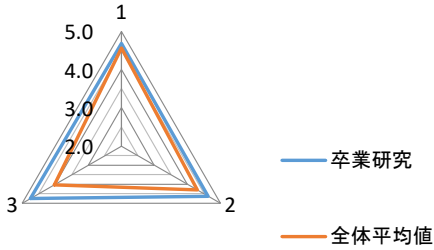
平成30年度第4学年通年「卒業研究」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
16	16	100%

実施日(平成30年12月19日)

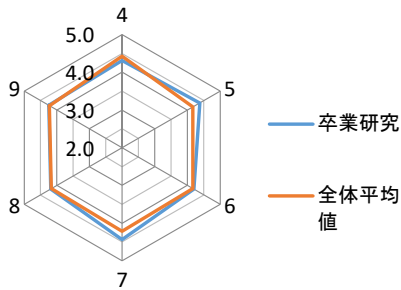
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	卒業研究	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	4.8	4.0	2.7	5.0

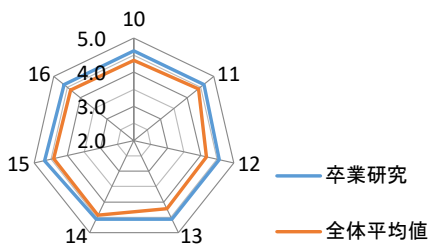
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	卒業研究	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.3	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.3	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	卒業研究	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.6	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.4	2.8	5.0

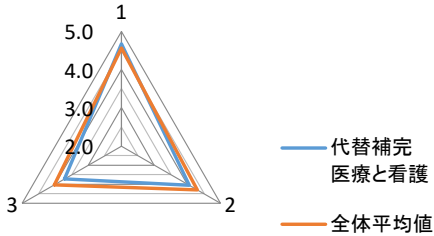
平成30年度第4学年後期「代替補完医療と看護」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	71	83%

実施日(平成30年10月23日)

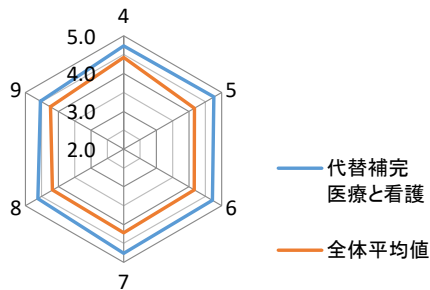
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	3.7	4.0	2.7	5.0

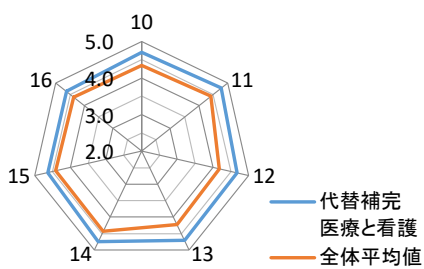
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.5	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.8	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.4	2.8	5.0

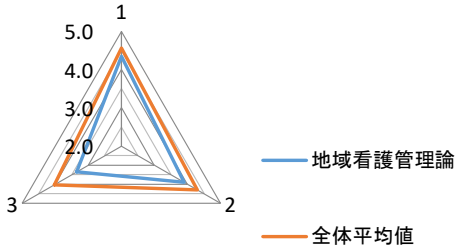
平成30年度第4学年後期「地域看護管理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
21	20	95%

実施日(平成30年11月16日)

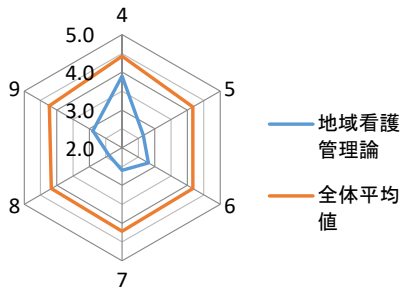
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	3.4	4.0	2.7	5.0

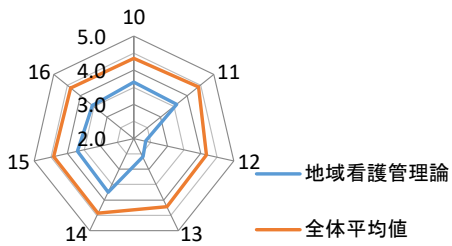
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域看護管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	3.9	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	2.7	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	2.8	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	2.6	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	2.4	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	2.9	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	地域看護管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.7	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	3.6	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	2.4	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	2.6	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	3.8	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	3.7	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	3.6	4.4	2.8	5.0

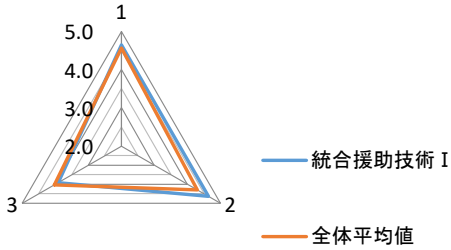
平成30年度第4学年後期「統合援助技術 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	77	88%

実施日(平成30年12月11日)

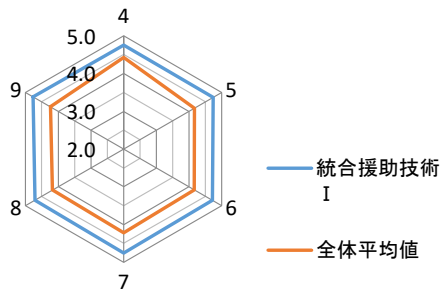
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	3.9	4.0	2.7	5.0

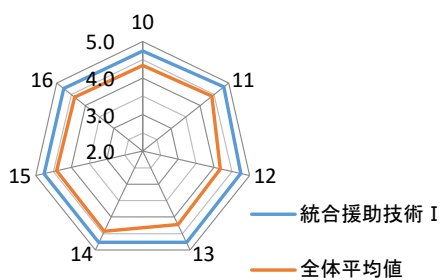
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.8	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.8	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.8	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.8	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.8	4.4	2.8	5.0

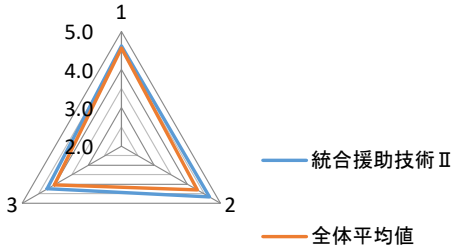
平成30年度第4学年後期「統合援助技術Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
51	45	88%

実施日(平成30年12月13日)

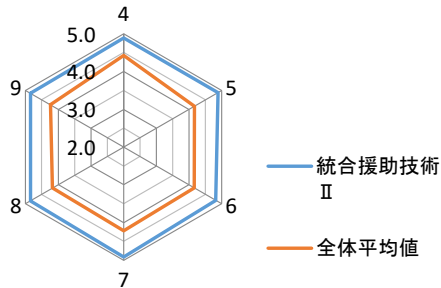
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統合援助技術Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.0	2.7	5.0

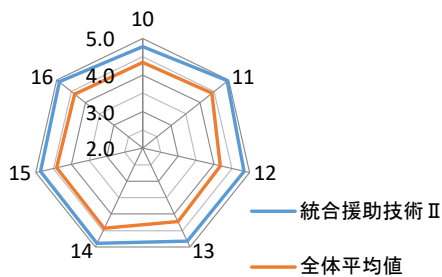
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	統合援助技術Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.8	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統合援助技術Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	5.0	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.9	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.9	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.9	4.4	2.8	5.0

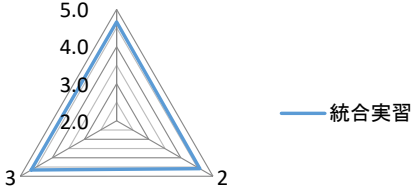
平成30年度第4学年「統合実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
91	71	78%

実施日(平成30年11月2日)

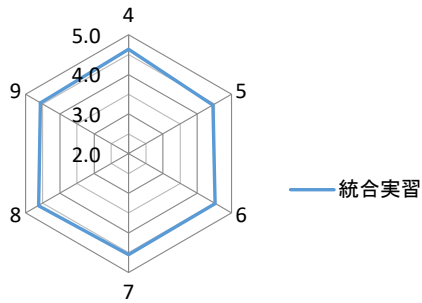
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ	4.7	—	—	—
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	—	—	—
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.7	—	—	—

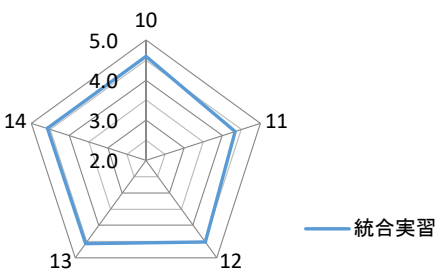
問2. 授業内容について



問2. 実習内容について

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 学習目標を達成するために多くの学修体験が得られた。	4.6	—	—	—
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.5	—	—	—
6 実習記録は学修を深める上で効果的であった。	4.5	—	—	—
7 課せられた実習記録や課題の量は適切であった。	4.5	—	—	—
8 看護への興味や関心が高まった。	4.6	—	—	—
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.6	—	—	—

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6	—	—	—
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.3	—	—	—
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.5	—	—	—
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.6	—	—	—
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	4.6	—	—	—

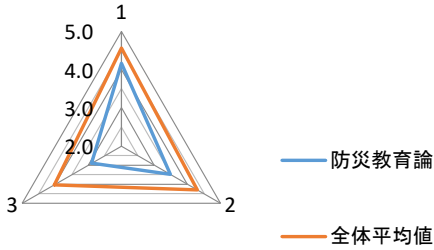
平成30年度第4学年後期「防災教育論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
72	60	83%

実施日(平成30年10月20日)

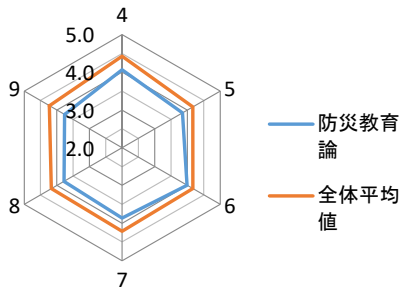
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	防災教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.2	4.6	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	3.5	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した	2.9	4.0	2.7	5.0

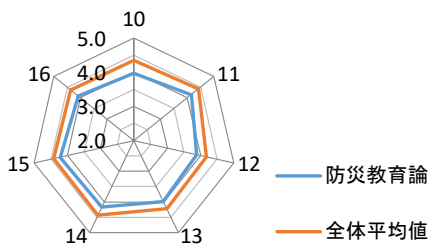
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	防災教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.1	4.4	3.3	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.2	2.2	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.2	2.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.9	4.2	2.5	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	3.8	4.2	2.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	3.8	4.2	2.7	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



	防災教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.3	2.7	5.0
11 教員の熱意が伝わった。	4.2	4.4	2.7	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.2	2.4	5.0
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.2	2.6	5.0
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.2	4.4	3.0	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.2	4.4	3.0	5.0
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.1	4.4	2.8	5.0